

最近のカーボンニュートラル

目次

1. はじめに
2. 主な用語についての解説
3. 政策と経済
4. CO₂排出量を削減するための最近の技術
5. 実現するために直面した課題
6. 建築設備業界の取り組み
7. 身近な取り組み
8. おわりに

1. はじめに

気候変動への対応が世界的な課題となる中、カーボンニュートラルはあらゆる産業にとって喫緊のテーマとなっています。なかでも、エネルギー消費量や資材使用量が多い建設業界においては、その社会的責任と役割は極めて大きいものがあります。

日本政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル宣言」に基づき、建設業界でも脱炭素化への取り組みが本格化しています。ZEBの推進、再生可能エネルギーを活用した施工、建設資材のリサイクル・再利用、さらにはICTやBIMといった先端技術を活用した効率的な施工管理など、現場からの変革が求められています。

しかし、カーボンニュートラルの実現は一朝一夕には成し得ません。それは単なる環境対策にとどまらず、都市づくり全体に関わる抜本的な変革を意味します。だからこそ、私たち建設業の一人ひとりが、「未来に責任を持つ仕事」として誇りを持ち、持続可能な社会の実現に貢献していく姿勢が求められています。

今回の特集では、建設業界におけるカーボンニュートラル実現に向けた最近の取り組みや技術、課題なども紹介します。日々の業務の中にある小さな工夫や選択が、やがて大きな変化につながり、皆様に役立つ気づきやヒントとなれば幸いです。